

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習 I		動物看護総合学科/1年	2021/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	合田 千佳
授業の概要				
・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・Word文書処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格 ・Wordを用いて簡単なビジネス文書を作成することができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>【実務経験】合田 千佳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザ教育・社内教育担当として2年の実務経験 これまでのユーザ向けや社内向け講座の企画立案から準備・実施・フォローの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する ・専門学校講師として21年の実務経験 これまでの様々なIT資格やビジネス資格取得教育担当や職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育担当経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する ・営業事務として2年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する 		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作	※授業の目的と、評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する		
	・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作	Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Wordの起動・終了 日本語入力システム、文字の入力と変換、文書の保存		
2	1. Wordの基本	Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Wordの起動・終了		
	2. 文字の入力と編集の基本操作	文書の呼び出し、文字列のコピーと移動		
3	2. 文字の入力と編集の基本操作	ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付		
	3. 文書の編集	ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法		
4	4. 文書の印刷	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
	3. 文書の編集	罫線と網かけ		
5	5. 文書の作成	段落番号、箇条書き、インデント、タブ設定		
	6. 表を使った文書の作成	表の作成、表の編集、表の装飾		
5	Word文書処理技能認定試験3級問題集	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
	3級練習問題2、4の問題1と問題2部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
5	3級練習問題2、4の問題3と問題4(図形や画像抜いた)部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		

回	テーマ	内容		
6	7. 図形や画像を使った文書の作成	図形の作成、図形の編集、画像の挿入、横書きテキストボックスの挿入、ワードアートの挿入 ヘッダーやフッターへの図形や画像、ワードアートの挿入		
7	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題4(図形と画像部分)と問題5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
8	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級サンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Wordクイックマスター2016基本編(ウィネット) 2016対応Word文書処理技能認定試験3級問題集(サーティファイ)		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
サービス接客検定3級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナーを身につける				
授業終了時の到達目標				
サービス接客検定3級合格 就職先で困らないような社会知識を身に付ける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして14年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	授業説明	授業の目的・前期の流れ説明 検定の申込書記入		
2	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている		
3	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ②適切な判断と表現ができる ③身だしなみを心得ている		
4	I サービススタッフの資質	2) 従業条件 ①良識を持ち、素直な態度がとれる ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる ③清潔感について、理解できる ④忍耐力のある行動を、とることができる		
5	I サービススタッフの資質	過去問題 I サービススタッフの資質		
6	II 専門知識	(1) サービス知識 ①サービスの意義を、一応、理解できる ②サービスの機能を、一応、理解できる ③サービスの種類を知っている		
7	II 専門知識	(2) 従業知識 ①商業用語、経済用語が理解できる 過去問題		
8	III 一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識が理解できる ②時事問題を、一応、理解できる 過去問題		
9	IV 対人技能	(1) 人間関係 ①一般的に、人間関係が理解できる		

回	テ ー マ	内 容
10	IV対人技能	(2) 接遇知識 ①対人心理が理解できる ②一般的なマナーを心得ている
11	IV対人技能	②一般的なマナーを心得ている
12	IV対人技能	②一般的なマナーを心得ている
13	IV対人技能	②一般的なマナーを心得ている
14	IV対人技能	②一般的なマナーを心得ている
15	IV対人技能	③接遇者としてのマナーを心得ている
16	IV対人技能	③接遇者としてのマナーを心得ている
17	IV対人技能	(3) 話し方 ①接遇用語を知っている
18	IV対人技能	②接遇者としての基本的な話し方が理解できる
19	IV対人技能	③掲示、説明の仕方が理解できる (4) 服装 ①接遇者としての適切な服装が理解できる
20	IV対人技能	過去問題 IV対人技能
21	V実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、理解できる
22	V実務技能	(2) 環境整備 ①環境整備について、理解できる
23	V実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、理解できる
24	V実務技能	(4) 社交業務 ①社交儀礼業務について、理解できる
25	V実務技能	過去問題 V実務技能
26	V実務技能	過去問題 V実務技能
27	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能
28	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能

回	テ ー マ	内 容		
29	期末テスト	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
30	期末テスト解説	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定 受験ガイド 3級		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
検定取得を目指す 社会人として必要なマナーを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
サービス接遇検定 2級取得 社会人として必要なマナーを身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして14年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている。 ②適切な判断と表現ができる。		
2	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ③身だしなみを心得ている。 (2) 従業要件 ①良識を持ち、素直な態度が取れる。 ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる。 ③清潔感について、理解できる。		
3	I サービススタッフの資質	(2) 従業要件 ④忍耐力のある行動を、取ることができる。		
4	I サービススタッフの資質	過去問題 I サービススタッフの資質		
5	Ⅱ 専門知識	(1) サービス知識 ①サービ意義を理解できる。 ②サービスの機能を理解できる。 ③サービスの種類を理解できる。(
6	Ⅱ 専門知識	(2) 従業知識 ①商業活動、経済活動が理解できる。 ②商業用語、経済用語が理解できる。		
7	Ⅱ 専門知識	過去問題 Ⅱ 専門知識		
8	Ⅲ 一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識がある ②時事問題を理解している		

回	テ ー マ	内 容
9	Ⅲ一般知識	過去問題 Ⅲ一般知識
10	Ⅳ対人技能	(1) 人間関係 ①人間関係の対処について、理解がある
11	Ⅳ対人技能	(2) 接客知識 ①顧客心理を理解し、能力を発揮することができる
12	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを発揮できる
13	Ⅳ対人技能	③接客者としてのマナーを発揮することができる
14	Ⅳ対人技能	(3) 話し方 ①接客用語を知っている
15	Ⅳ対人技能	②接客者としての話し方ができる
16	Ⅳ対人技能	③掲示、説明ができる (4) 服装 ①接客者としての適切な服装ができる
17	Ⅳ対人技能	過去問題
18	Ⅴ実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、対処できる (2) 環境整備 ①環境整備について、対処できる
19	Ⅴ実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、能力を発揮できる (4) 金品輸送 ①送金、運搬について、理解できる
20	Ⅴ実務技能	(5) 社交業務 ①社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力がある
21	Ⅴ実務技能	過去問題
22	Ⅴ実務技能	過去問題
23	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能
24	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能
25	インターンに向けて	インターン実習の流れ

回	テ ー マ	内 容		
26	インターンに向けて	自己分析シート		
27	インターンに向けて	履歴書の書き方		
28	インターンに向けて	電話の掛け方		
29	インターンに向けて	電話の掛け方		
30	インターンに向けて	面接練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇検定 2級受験ガイド		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	検定結果を期末の 代わりにします。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義				
日本で飼われている種類を抜粋し生態、外観、飼育方法を身につける				
授業終了時の到達目標				
犬の種類や特徴を知り訓練や販売や看護の仕事で役にたつようにする 犬の生態を知ることによって扱いに気を配ることができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー、ブリーダー、ハンドラーとして27年 常にお客様から受ける相談をもとに授業をすすめる。		
時間外に必要な学修				
グルーミング実習時に担当した犬種をよく観察すること				
回	テーマ	内 容		
1	なぜ犬の種類ができたのか	犬の種類がなぜ増えていったのかを説明する		
2	犬の体を知ろう	犬の部位名称や歯列やかみ合わせの説明		
3	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	第1グループに属する犬種の特徴と各犬種の特徴 オーストラリアン・シェパード・ボーダーコリー		
4	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエルシュ・コーギーペンブローグ ウエルシュ・コーギーカーディガンの違いの説明		
5	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ジャーマンシェパードの説明 シェパードの歴史と牧羊犬の役割の解説		
6	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ラフ・コリーとスムース・コリー、シエルティの解説 作出に関しての歴史の説明		
7	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	大型犬の作出の歴史を説明 グレート・ピレニーズの解説		
8	第3グループ犬種説明と各犬種の説明	テリアの特徴の説明と ジャックラッセルの説明		
9	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	シュナウザー ブルドッグ ドーベルマンの説明		
10	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	テリアの特徴の説明 飼育		
11	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ウエストハイランドテリアの説明 スコティッシュテリアの説明 短脚テリアの特徴をまとめて説明		
12	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ワイヤーフォックステリア説明 ヨークシャテリア説明		
13	小テスト	期末試験までの準備のため		
14	期末試験のおさらい			

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	最新犬種図鑑	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	準備学習 次に授業である犬 種のところを教科 書で予習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義 犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする				
授業終了時の到達目標				
犬の特徴を知りお客様の相談に対応できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー、ハンドラー、ブリーダー歴27年の経験から日頃お客様と対応する内容をもとにアドバイスができる		
時間外に必要な学修				
実習関連時に犬をよく観察すること				
回	テーマ	内容		
1	第4グループ犬種説明	ダックスフンドの特徴と沿革の説明		
2	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	シベリアンハスキーとアラスカンマラミュートの違い		
3	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	ポメラニアンや他のスピッツタイプの説明		
4	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	日本犬の特徴と説明		
5	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ビーグルなどの説明		
6	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ダルメシアンの特徴		
7	第7グループ犬種説明と各犬種の説明	セターとワイマラナーの説明		
8	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	アメリカン・コッカーの説明		
9	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	スパニエル系のまとめ		
10	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	レトリバー系のまとめ		
11	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	プードルの説明		
12	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	チワワキャバリアなどの説明		
13	小テスト	期末試験の準備		
14	第10グループ犬種説明と各犬種の説明	サイトハウンドの特徴		
15	期末試験			

回	テ　　マ 教科書・教材	内　　　　容		
		評価基準	評価率	その他
	最新犬種図鑑	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	準備学習 次にする犬種をイ メージするために 本を読んでおく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASIC I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	吉本, 森, 三村, 山地, 北村
授業の概要				
グルーミングに必要な犬の扱いと、美容用具の扱い方を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
正しい作業方法を覚える				
実務経験有無	実務経験内容			
有	吉本真紀 トリマーとして28年 森 純子 トリマーとして15年 三村梨恵 トリマーとして14年 山地香里 トリマーとして4年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして1年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	導入	実習における注意事項を説明 道具の種類および使用方法を説明 グルーミングの作業の流れを説明		
3~ 17	基礎	シザーの持ち方・開き方を学ぶ ブラッシング・ベイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ		
18~ 19	シザーテスト(第一回)	シザーの持ち方・開き方・開く角度を採点		
20~ 26	基礎	引き続き、ブラッシング・ベイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ クリッパーの使い方を学ぶ		
27	シザーテスト(第二回)	開閉速度・耐久力・正確さを採点		
28~ 30	応用	グルーミング作業の効率化 シザーテスト合格者から足まわりのカットを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASIC II		動物看護総合学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	吉本, 森, 三村, 山地, 北村
授業の概要				
グルーミング作業(ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り)をできるようになる				
授業終了時の到達目標				
1人でグルーミング作業をできるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有	吉本真紀 トリマーとして28年 森 純子 トリマーとして15年 三村梨恵 トリマーとして14年 山地香里 トリマーとして4年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして1年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~20	基礎の復習	グルーミング犬種を中心に実習を行い前期に学んだ基礎の復習を行う		
21~40	基礎と応用	基礎の復習 犬種やサイズ、被毛の状態に合わせた作業方法の応用		
41~45	作業速度の向上と犬種別の対応	二人ペアで行っていた作業を一人でどのような犬種でも作業ができるようになる 全作業のスピードアップ(時間を意識して作業を行う)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
訓練基礎を習得することが出来る(待て、おすわり)				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
【準備学習】テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~ 15	基本学習	おやつ・言葉のタイミング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		実習・実技評価 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
基礎訓練を習得する(脚側行進・伏臥・停座・据座・立止・招呼)				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
【準備学習】テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~ 15	行動学習	脚側行進・伏臥・停座・据座・立止・招呼		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物行動学		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。				
動物と人間がいかに共存できるか学習する。				
授業終了時の到達目標				
動物の行動習性について正しい知識を学ぶことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	生得的行動・習得的行動	遺伝・行動・学習ができる		
3~ 4	パブロフの犬	条件付け・古典的条件付け・条件反射・無条件反射ができる		
5~ 6	オペラント条件付け	イルカトレーニング・クリックートレーニングができる		
7~ 9	犬の五感	臭覚・視覚・聴覚・触覚・味覚を知る		
10~ 12	ホルモンと行動	去勢・避妊を知る		
13~ 15	愛護	パピーミル・殺処分・子犬の流通システムを知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。</p> <p>3億6000万年前に誕生した脊椎動物は種々の進化を経て現在に至っている。哺乳類がとげた進化の中で恒常性の維持(ホメオスタシス)に関わる形態、機能こそ生命を維持する基礎となっている。それらを学習することによって正常な形態、機能を理解し、そこから病態における有効な看護を考える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>細胞の基本構造について説明できる。</p> <p>循環器系について説明ができる。</p> <p>呼吸器系について説明ができる。</p> <p>消化器系について説明ができる。</p> <p>泌尿器系について説明ができる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>動物病院における獣医師としての診療 37年</p> <p>動物系専門学校における動物看護系教員 14年</p>		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	動物体の構造と機能を学ぶために	動物体の形態、構造、機能について、何を学ぶか 動物形態機能学概論		
2	体のつくりと働き	動物の分類、身体の位置を示す用語、身体の基本構造、細胞～動物体へ		
3	生命のすがた①	体を作る構造 細胞 多くの細胞からなる組織		
4	生命のすがた②	細胞分裂と増殖		
5～6	生命のすがた③	細胞内液、細胞外液、電解質		
7～12	栄養の消化と吸収	口・咽頭・食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能 膵臓・肝臓・胆のうの構造と機能		
13～18	呼吸と血液のはたらき	呼吸器の構造 呼吸 血液		
19～24	血液の循環とその調節	循環器の構成 心臓の構造 心臓の拍出機能 末梢循環系の構造 血液循環の調節 リンパとリンパ管		
25～29	体液の調節と尿の生成	腎臓 排尿路 体液の調節		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト2「動物のからだの構造と機能」(ファームプレス) 専門基礎分野「動物形態機能学」(インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。				
授業終了時の到達目標				
内分泌系について説明ができる。 自律神経系について説明ができる。 生殖器系について説明ができる。 骨格系・筋系について説明できる。 外部環境からの防御について説明できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療 37年 動物系専門学校における動物看護系教員 14年		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~6	内臓機能の調節	自律神経による調節 内分泌系による調節 全身の内分泌腺と内分泌細胞 ホルモン分泌の調節 ホルモンによる調節の実際		
7~12	身体の支持と運動	骨格とはどのようなものか 骨の連結 骨格筋 体幹の骨格と筋 前肢の骨格と筋 後肢の骨格と筋 頭頸部の骨格と筋 筋の収縮		
13~18	情報の受容と処理	神経系の構造と機能 脊髄と脳 脊髄神経と脳神経 脳の高次機能 運動機能と下行伝導路 感覚機能と上行伝導路 眼の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡感覚 味覚と嗅覚 疼痛(痛み)		
19~24	外部環境からの防御	皮膚の構造と機能 生体の防御機構 体温とその調節		
25~29	生殖・発生と老化のしくみ	雄性生殖器 雌性生殖器 受精と胎仔の発生 成長と老化		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト2「動物の「からだの構造と機能」(ファームプレス) 専門基礎分野「動物形態機能学」(インターズー)		期末試験 出席率	100.0% 0.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	鈴木 ひとみ

授業の概要

伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。

授業終了時の到達目標

感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルスなど)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

実務経験有無

有 獣医師としての10年の実務経験

時間外に必要な学修

【準備学習】
 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する/マンガ「はたらくさいぼう」を読む

回	テーマ	内容
1	動機付け 感染症の成立	感染症学とは何か。 感染症学を学ぶ意味を考える。
2	免疫	免疫の仕組みについて学び、感染症の予防法の理解につなげる
3	アレルギー	アレルギーの仕組みについて学び、その予防や発生時の対処の理解につなげる
4	感染経路	様々な感染経路を理解し、感染症予防法の理解につなげる
5	感染源①	感染源となる微生物について学ぶ
6	感染源②	感染源となる微生物について学ぶ
7	感染源③	感染源となる微生物について学ぶ
8	感染源④	感染源となる微生物について学ぶ
9	感染源⑤	感染源となる微生物について学ぶ
10	感染源⑥	感染源となる微生物について学ぶ
11	感染源⑦	感染源となる微生物について学ぶ
12	媒介動物①	感染症を媒介する動物について学ぶ
13	媒介動物②	感染症を媒介する動物について学ぶ
14	媒介動物③	感染症を媒介する動物について学ぶ

回	テ ー マ	内 容		
15	中間まとめ①	ここまで学んだ内容について復習する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護コアテキスト3巻（ファームプレ ス）	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	鈴木 ひとみ
授業の概要				
<p>伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師としての10年の実務経験		
時間外に必要な学修				
【準備学習】				
<p>次の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する/マンガ「はたらくさいぼう」を読む</p>				
回	テーマ	内容		
1	試験見直しと復習	感染症学Ⅰの試験の見直しと感染症学Ⅰの内容を復習する		
2	復習	感染症学Ⅰの内容を復習する		
3	感染症⑪	動物に関連する感染症について学ぶ		
4	感染症⑫	動物に関連する感染症について学ぶ		
5	感染症⑬	動物に関連する感染症について学ぶ		
6	感染症⑭	動物に関連する感染症について学ぶ		
7	感染症⑮	動物に関連する感染症について学ぶ		
8	感染症⑯	動物に関連する感染症について学ぶ		
9	中間まとめ①	ここまで学んだ内容について復習する		
10	中間まとめ②	ここまで学んだ内容について復習する		
11	ワクチン①	ワクチンの仕組みについて学習する		
12	ワクチン②	ワクチンの仕組みについて学習する		
13	ワクチン③	ワクチンの種類、内容について学習する		
14	最終まとめ	感染症学Ⅱで学んだことを復習する		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト3巻（ファームプレス）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
小動物診療は、ますます高度化し動物病院においては獣医師の他に、種々の動物医療関連業務に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、社会的債務を理解した動物看護師として獣医師の補助的サポートだけではない、専門職としての職業意識を形成する。				
授業終了時の到達目標				
動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として22年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	動物看護学概論①	動物看護学の中で、動物看護の基本となる概念を学ぶ		
3~4	動物看護学概論②	動物看護学を学ぶ上で、業務を考える		
5~6	動物看護学概論③	動物看護師の倫理について考える		
7~8	動物看護学概論④	動物看護学が必要な場面とはどんな場面なのか。そして動物看護師が活躍できるのはどんな時なのかを学ぶ。		
9~10	動物看護学概論?	動物看護を実行するうえで必要な動物看護師の視点について学べる。		
11~12	動物看護学概論?	診療場面での動物看護師の役割について知る		
13~14	動物看護学概論⑦	獣医療の歴史、動物看護と国家資格化の軌跡を知る		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の基礎5 (ファームプレス)		期末試験 出席率 課題・レポート	60.0% 30.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
<p>小動物診療はますます高度化し、動物病院においては獣医師のほかに「診療の補助行為をはじめとする種々の動物医療関連業務」に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。単に獣医師の補助的サポートをするだけではなく、獣医師が為せる職域ではない「動物看護学」を学び、職域として確立する。動物看護師は、獣医師の業務である診断、処方、手術、予後の判定以外の多岐にわたる業務をこなさねばならない。「動物看護学」では、概論として動物看護技術を身につける以前に必要な要素について概論で学び、動物看護師を目指す目的に向かってステップアップする。</p>				
授業終了時の到達目標				
動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で22年間勤務		
時間外に必要な学修				
【事前学習】前回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習				
回	テーマ	内容		
1~2	動物の看護過程展開①	動物看護を実践するために必要な、動物の看護過程について学ぶ意味を考える		
3~4	動物の看護過程展開②	動物の看護過程とは何か？を知る		
5~6	動物の看護過程展開③	動物の看護過程：展開を学ぶ		
7~8	動物の看護過程展開④	動物の看護過程：展開を学ぶ		
9~10	動物の看護過程展開⑤	動物の看護過程：展開を学ぶ		
11~12	動物の看護過程展開⑥	動物の看護過程：展開を学ぶ		
13~14	動物の看護過程展開⑥	動物の看護過程：展開を学ぶ		
15	動物の看護過程展開⑧	動物の看護過程：展開を学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書(緑書房)		期末試験 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療関連法規		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
<p>獣医療における動物看護師の職域や身分などを明示した法令はない。獣医師とのチーム獣医療を構成する動物看護師は、動物看護師が行う獣医医療関連の業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し、獣医療現場及び公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として遵守の精神を養う必要がある。また、社会人として知っておくべき法規について学習する。2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護者の倫理綱領2009」と「動物看護者の業務指針」(2012)についても学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
獣医療に関わる法律について理解し、動物と人が共存する社会の安全を守るために貢献する動物看護師になる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として22年間、動物病院で勤務			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	法規の概念	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
2	動物看護師を取り巻く獣医療関連法規のアウトラインについて	動物看護師を取り巻く法律の概要を知る		
3	動物看護師の職域に関連する法規①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
4	動物看護師の職域に関連する法規②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
5	動物愛護及び管理に関する法律①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
6	動物愛護及び管理に関する法律②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
7	身体障害者補助犬法	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
8	狂犬病予防法	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
9	家畜衛生行政関連法規	動物全般の伝染性疾病について理解する		
10	公衆衛生行政関連法規	法の理念と目的を理解し公衆衛生に寄与する		
11	薬物関連法規	医薬品、医薬部外品等の有効性及び安全性の確保について学ぶ		
12	環境行政関連法規	産業廃棄物処理法を理解する		
13	野生動物にかかわる関連法令	法の理念と目的を学び、野生鳥獣の保護と適性狩猟について理解する		
14	社会人として知っておく必要のある法律	動物看護師が知っておく必要のある一般法律について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	応用動物看護学2（インターズー）	期末試験 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
伴侶動物学 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉

授業の概要

人間の伴侶となり、共に暮らす動物について知識を深め、専門職として活躍できる能力を身に付ける。日頃の健康管理について、動物看護師として飼い主に飼育指導できる人材となることを目指す。近年の伴侶動物の種類多様化に伴い、小動物臨床現場で遭遇する動物種も増加傾向にあり、それぞれの看護対象を正しく理解し扱える動物看護師の需要は高まっている。イヌやネコのみならず、すべての動物に関して自らが継続して学習する姿勢を取り、さまざまな分野に対して興味を示し自主的に行動を起こせる人材となり、動物看護師に対する社会のニーズに対応することを目指す。本学科においてイヌ・ネコ・ウサギ・フェレット・ハムスター・モルモット・チンチラ・フクロモモンガ・テグー・ハリネズミについて学習する。

授業終了時の到達目標

- ・イヌの生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。
- ・ネコの生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。
- ・ウサギの生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。
- ・フェレットの生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。
- ・ハムスター・モルモット・チンチラの生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。
- ・フクロモモンガ・テグー・ハリネズミの生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	動物病院における獣医師としての臨床経験 37年 動物系専門学校における動物看護系教員経験 14年

時間外に必要な学修

各項目についての復習
学外において伴侶動物学で学習した動物と遭遇した場合は、観察を怠らず学習内容と照らし合わせてみる。

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス 犬の歴史について	伴侶動物 I で学習する内容の概略を説明する。 イヌの歴史について学習する。
2~ 4	イヌ	犬の生態、習性について学習し、それらに則した飼育方法、看護方法を学習する。
5~ 7	ネコ	ネコの生態、習性、種類について学習する。 ネコの修正に則した飼育方法、看護方法を学習する。
8~ 9	ウサギ	ウサギの生態、習性、種類について学習する。 ウサギの生態、習性に則した飼育方法、看護方法を学習する。
10~ 11	フェレット	フェレット生態、習性、種類について学習する。 フェレットの生態、習性に則した飼育方法、看護方法を学習する。
12	ハムスター・モルモット・チンチラ	ハムスター・モリモット・チンチラ生態、習性、種類について学習する。 ハムスター・モリモット・チンチラの生態、習性に則した飼育方法、看護方法を学習する。
13	フクロモモンガ・デグー・ハリネズミ	フクロモモンガ・デグー・ハリネズミ生態、習性、種類について学習する。 フクロモモンガ・デグー・ハリネズミの生態、習性に則した飼育方法、看護方法を学習する。

回	テ ー マ	内 容		
14	まとめと確認	授業内容習得を確認		
15	期末試験	期末試験実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護コアテキスト4（ファームプレス） 応用動物看護学（インターズー） 動物看護の教科書4 応用動物看護学（緑書房）	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
伴侶動物学Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
人間の伴侶となり、共に暮らす動物について知識を深め、専門職として活躍できる能力を身に付ける。日頃な健康管理について、動物看護師として飼い主に飼育指導できる人材となることを目指す。近年の伴侶動物の種類多様化に伴い、小動物臨床現場で遭遇する動物種も増加傾向にあり、それぞれの看護対象を正しく理解し扱える動物看護師の需要は高まっている。イヌやネコのみならず、すべての動物に関して自らが継続して学習する姿勢を取り、さまざまな分野に対して興味を示し自主的に行動を起こせる人材となり、動物看護師に対する社会のニーズに対応することを目指す。本学科においてイヌ・ネコ・ウサギ・フェレット・ハムスター・モルモット・チンチラ・フクロモモンガ・テグー・ハリネズミについて学習する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥類の生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。 ・爬虫類の生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。 ・エキゾチックアニマルに属するそれぞれの動物の雌雄生殖器の構造と機能、性行動及び発情、交尾、妊娠、分娩の過程を学び、飼い主に適切なアドバイスができるようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として動物病院で診療に従事 37年間 動物系専門学校で動物看護系教員として 14年		
時間外に必要な学修				
各項目についての復習 学外において伴侶動物学で学習した動物と遭遇した場合は、観察を怠らず学習内容と照らし合わせてみる。				
回	テーマ	内 容		
1～6	鳥類	鳥類の生態、習性、種類 鳥類の飼育方法、看護方法		
7～11	爬虫類	爬虫類の生態、習性、種類 爬虫類の飼育方法、看護方法		
12～13	エキゾチックアニマルの繁殖	イヌ・ネコ以外の伴侶動物の繁殖について学習し、しれ耳れの動物の繁殖を考慮した飼育方法、看護方法を習得する。		
14	確認とまとめ			
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4(ファームプレス) 応用動物看護学3(インターズー) 動物看護の教科書4 応用動物看護学(緑書房)		期末試験 出席率	100.0% 0.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学実習 I		動物看護総合学科/1年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
講義で習得した知識の実践とし、診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につける。また、手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
修得した知識の実践力を身に付ける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
【事前学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習				
回	テーマ	内容		
1	動物看護のための準備と心構え	臨床現場における動物看護のための準備・心構えについて学ぶ		
2	診療補助(概論)	犬猫の扱いを知り、基本的な保定法と身体検査について学ぶ		
3~5	診療補助①(犬猫の保定法)	犬猫の基本的な保定法の違いを知り、処置と個体に合った保定法を修得する		
6~7	診療補助②(バイタルチェック・身体検査)	バイタルチェック・身体検査の方法を修得する。		
8~9	診療補助③(生体の正常・異常)	生体の正常値と異常値、カルテの記入の仕方を学ぶ		
10	シリンジと注射器の扱い(概論)	<ul style="list-style-type: none"> ・シリンジ、注射針の構造、種類について学ぶ ・注射の目的と違いを理解する 		
11~12	シリンジと注射針の扱い①(無菌的操作)	<ul style="list-style-type: none"> ・シリンジ、注射針の無菌的操作の手順を修得する ・バイアルとアンプルについて学ぶ 		
13~14	シリンジと注射針の扱い②(薬剤の準備)	<ul style="list-style-type: none"> ・各注射法の目的と方法を学ぶ ・薬剤の準備を練習する 		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー)		期末試験 実習・実技評価 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学実習Ⅱ		動物看護総合学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物形態機能学実習Ⅰで習得した知識の実践とし、診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につける。また、手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
修得した知識の実践力を身に付ける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
【事前学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習				
回	テーマ	内容		
1	調剤(概論)	獣医師法、薬事法について学ぶ、動物看護師が行う調剤の職域について学ぶ		
2	調剤①(処方箋、調剤用語)	処方箋、調剤用語について学ぶ		
3	調剤②(形状、標記、取り扱い)	薬剤の形状、医薬品の種類と標記、薬剤の取り扱いについて学ぶ		
4~5	調剤③(薬量の計算、調剤、分包)	各種薬剤の計算の仕方、調剤法を学ぶ		
6~7	調剤④(薬袋、薬剤の使用法、投薬方法)	薬袋、薬剤の使用法および使用方法の説明の仕方を学ぶ、投薬方法について学ぶ		
8~9	採血(概論)	採血時に必要な解剖生理学を学ぶ		
10~11	採血(保定、駆血)	採血時に必要な保定および駆血の手技を身に付ける		
12~13	採血の実施	学校犬の採血を実施する		
14	まとめ	期末試験前のまとめ		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー)		期末試験 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習 I		動物看護総合学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解する ・動物病院内で動物看護師の実際の業務や獣医師、動物看護師との連携を理解する ・学内でのカリキュラム、各教科と実際の業務との関連を知ること、必要性や目的を理解し、意欲の向上を図る 				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	理解型実習	オリエンテーションを受け、動物病院の概要、動物看護師の職務内容を理解する		
6~10	理解型実習	獣医師・動物看護師の業務内容(役割の違い、一日の流れなど)を把握する		
11~15	理解型実習	動物病院の施設を見学し、施設の概要や機能を理解する		
16~20	理解型実習	動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する		
21~25	理解型実習	学習者として適切に行動できるよう、社会常識やマナーを実践する		
26~30	理解型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を知り、必要性を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに点数化し評価する 【衛生・健康管理】(優)8点(良)7点(可)6点(不可)5点 【接遇マナー、勤務状態】(優)6点(良)5点(可)4点(不可)3点 ・合計で100点満点とする